

平林金属女子 上位へ巻き返し



昨季からの巻き返しを期す平林金属ナイン＝HIRAKINライズ球場

日本シニア2部22日スタート

ソフトボール女子の平林金属（岡山市）は22日に富山市で開幕する日本リーグ2部に臨む。昨季は13チーム中12位と低迷しており、上位浮上へ巻き返しを期す。

今季は14チームを「アドバンス」「ホープ」の2組（各7チーム）に分けて実施。10月まで2回戦総当たりで争い、総合順位は両組のチームによる順位決定戦で決める。

1位は1部昇格、2位は1部11位との入れ替え戦（11月）に臨む。

昨季は6チームによるアドバンスで1勝9敗の最下位。投手陣が打ち込まれ、総合順位決定戦の2試合を含め、1試合平均4・6失点（2得点）を喫した。反省から中村、岡崎の2本柱は制球力とスタミナのアップに向けて冬場の走り込みを増やし、下半身を強化。昨季まで男子の平林金属で投手として活躍した横畠

コーチの助言も受け、投球術に磨きをかける。

打線は昨季、打率4割1分7厘で優秀選手賞に選ばれた福井、長打のある弦田が中心。ともに俊足の川淵（環太平洋大出）、田畑（福岡大出）の新人2人も即戦力の期待がかかる。「昨年のような思いはしたくない。力を発揮することに集中すること主将の呉屋、小原監督も「一つでも上を目指し、周囲の期待に応えたい」と話す。（森川進豪）